

## 1 1 総合的な学習の時間の基本

### 目 標

#### (1) 目標

①横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、②自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、③学び方やものの考え方を身に付け、④問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、⑤自己の生き方を考えることができるようにする。

- \* ①は総合的な学習に時間に特有な学習の在り方
- ②③④は育てたい資質、能力
- ⑤は目指す姿

### 指導のポイント

#### (2) 学習指導のポイント

総合的な学習の時間の趣旨を実現するためには、問題解決的な活動が発展的に繰り返される「探究的な学習」とすること、他者と協同して課題を解決する「協同的な学習」とすることが重要である。加えて体験活動を重視するとともに、思考力・判断力・表現力等をはぐくむ言語活動の充実を図ることが欠かせない。さらには、各教科・科目等との関連を意識した学習活動を展開することなどを踏まえ、学習活動を行うことが大切である。

### 探究的な学習

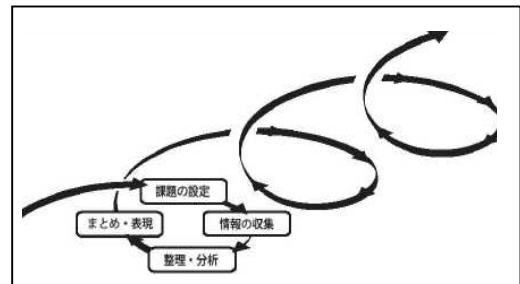
#### ① 学習過程を探究的にすること

探究的な学習とするためには、学習過程が以下のようにすることが重要である。

- 【課題の設定】 体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
- 【情報の収集】 必要な情報を取り出し たり収集したりする
- 【整理・分析】 収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
- 【まとめ・表現】 気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

この探究の過程は順序よく繰り返されるわけではなく、順番が前後することもあるし、一つの活動の中に複数のプロセスが一体化して同時に行われる場合もある。

この探究の過程は、左図のように何度も繰り返され、スパイラルに高まっていく。



### 協同的な学習

#### ② 他者と協同して取り組む学習活動にすること

他者と協同して課題を解決しようとする学習活動を重視することは、多様な考え方をもち他者と適切に関わり合ったり、新しい価値を創造したり、社会に参画したり貢献したりする資質や能力及び態度の育成につながると共に、生徒の学習の質を高め、探究的な学習を実現することにもつながる。以下のような場面と児童生徒の姿が想定できる。

- 多様な情報を活用して協同的に学ぶ
- 異なる視点から考え協同して学ぶ。
- 力を合わせたり交流したりして協同的に学ぶ。

**体験活動の重視****③ 体験活動の重視**

自然にかかわる体験活動，ボランティア活動など社会とかかわる体験活動，ものづくりや生産，文化や芸術にかかわる体験活動等を適切に位置付けた横断的・総合的な学習や探究的な学習を行うことが考えられる。

**言語活動の充実****④ 言語活動の充実**

思考力・判断力・表現力等の育成を図る上で，体験したことや収集した情報を，言語により分析したりまとめたりすることを，問題の解決や探究活動の過程に位置付けることが大切である。国語科の言語活動例をはじめ，各教科等で行われている言語活動との関連を図ることが大切である。

**各教科等との  
関連****⑤ 各教科等との関連**

各教科等で身に付けた知識や技能は総合的な学習の時間に活用することによって確かになり一層生きて働くようになる。一方，総合的な学習の時間での学習活動やその成果が，各教科等の学習活動への意欲を高めたり学習を促進したりする。総合的な学習の時間と各教科等との関連を意識した学習活動を工夫することが大切である。

**全体計画の作成****(3) 全体計画の作成**

学習指導要領に示される「総合的な学習の時間」の目標を，各学校の日々の実践として具現化するために，各学校において全体計画を作成する。

**各学校におい  
て定める目標****① 各学校において定める目標**

各学校においては，この時間の教育活動が創意工夫に満ちた豊かなものになるよう，(1)の目標を構成する①～⑤の5つの要素を含むよう配慮し，独自に目標を定める。

**〈小学校例〉**

地域の様々な出来事や暮らしについて，自ら課題を見付け，問題の解決に積極的に取り組もうとするとともに，地域の人とのかかわりを通して，地域に対する愛着を深め，自分の生き方を考える。

**〈中学校例〉**

地域社会の様々な事象に関する体験活動を通して，学び方やものの考え方を身に付けるとともに，問題の解決や探究活動において，仲間と協力して解決に取り組み，社会の一員としての在り方と自分の生き方について考える。

**育てようとする  
資質や能力  
及び態度****② 育てようとする資質や能力及び態度**

各学校で定めた目標を，実際の学習活動へと実践化するために，育てようとする資質や能力及び態度を具体的・分析的に示す。その際，以下の3つの視点に配慮する。

学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会とのかかわりに 関すること
児童生徒が横断的・総合的な学習や探究的な学習を主体的，創造的に進めていくために必要な資質や能力及び態度に関する視点	児童生徒自身の生活や行為の在り方，あるいは自己理解や自己省察に必要な資質や能力及び態度に関する視点	他者との協同や社会とのかかわりに必要な資質や能力及び態度に関する視点

各学校において定める内容

③ 各学校において定める内容

内容として、各学校の目標の実現のためにふさわしい「学習課題」を定める。

\* 「学習課題」とは、以下の3つの要件を満たし教育的に価値があると各学校で判断したものである。

- ・横断的・総合的な学習としての性格をもつこと
- ・探究的に学習することがふさわしいこと
- ・学習や気づきが自己の在り方生き方を考えることに結び付いていくこと

〈学習課題例〉

- ・ 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題
- ・ 児童生徒の興味・関心に基づく課題
- ・ 自己の在り方生き方や進路にかかわる課題

児童生徒が探究的にかかわりを深めていくひと・もの・ことなどの「学習対象」や、学習対象とのかかわりを通して学ぶことが期待される「学習事項」等によって、学習課題を具体的・分析的に示すことが考えられる。

年間指導計画

(4) 年間指導計画作成上の留意点

- ① 児童生徒の実態や特性、学習経験に配慮すること
- ② 十分な見通しをもった周到な計画にすること
- ③ 季節や行事など適切な活動時期を生かすこと
- ④ 各教科、特別活動との関連を図ること
- ⑤ 学年間の関連を見通すこと
- ⑥ 弾力的な運用に耐えうる柔軟性をもつこと
- ⑦ 外部の教育資源の活用及び異校種の連携や交流を意識すること

単元計画

(5) 単元計画の基本的な考え方 (P122 参照)

単元計画は、「内容」をどのように学び、「育てようとする資質・能力及び態度」をどのように育成するかを、学習活動とそのプロセスで示したものである。単元計画作成に際しては、以下の2つのことを重視する。

- ① 児童生徒の関心や疑問を生かした単元の構想
- ② 意図した学習を効果的に生み出す単元の構成

評価

(6) 評価の基本的な考え方

評価を適切に実施するには、その在り方として、「信頼される評価」とするために、「多様な評価」になっているか、「過程での評価」が適切に行われているかを重視する。

総合的な学習の時間では、各学校において目標や内容を定めることから、その目標や内容に従って評価の観点を適切に定めることが大切である。あらかじめいくつかの観点を設定しておくのは、資質や能力及び態度がどのように育まれ、何を学び取っているのかなど、学習の進歩や成長の状況をバランスよく総合的に判断するためである。

平成〇〇年度 〇〇中学校 総合的な学習の時間 第〇学年（〇学〇組）単元計画

1 単元名

総合的な学習の時間において、どのような横断的・総合的な学習や探究的な学習が展開されるかを一言で端的に表現したものが単元名である。総合的な学習の時間の単元名については、① 生徒の学習の姿が具体的にイメージできる単元名にすること、② 学習の高まりや目的が示唆できるようにすること、に配慮することが大切である。

2 単元設定の理由

ここでは、なぜこの単元を計画したかについて、様々な要素からその設定理由を述べる。要素としては、①生徒の実態、② 育てようとする資質や能力及び態度、③教材について（内容とのかかわり）、④教師の願い、⑤地域や学校の特色、⑥ 社会の要請、⑦学校研究課題との関連、⑧ 各教科等との関連等が挙げられる。

3 単元目標

どのような学習を通して、生徒にどのような内容を学ばせ、どのような資質や能力及び態度を育成するのかを明確に示したものが単元目標である。各学校の目標や内容、育てようとする資質や能力及び態度を視野に入れ、中核となる学習活動をもとに構成することが考えられる。なお、目標の標記については、一文で示す場合、箇条書きにする場合などが考えられる。

4 単元の評価規準

評価の観点				
評価規準	<p>評価の観点を設定する際には、①育てようとする資質や能力及び態度を踏まえた観点、②総合的な学習の時間の目標を踏まえた観点、③教科との関連を明確にした観点の3つが考えられる。</p>			

5 指導計画（〇時間）

学習過程 （時間数）	活動内容	指導のポイント・関連する教科等 等
<p>活動内容や時間数、学習環境をより具体的に記述するとともに、それぞれの活動における指導のポイントや関連する教科等の学習内容、評価の視点等についても示すことが求められる。</p>		